

## 第4学年 音楽科学習指導案

千葉県公立小学校

### 1 題材名 「リズムと旋律の面白さを感じ取ろう」

教材名 「まきばの朝」 文部省唱歌 / 船橋栄吉（作曲）

「とんび」 葛原しげる（作詞） / 梁田貞（作曲）

### 2 題材のねらい

- (1) 曲想と旋律やリズム、呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする。
- (2) 旋律やリズム、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律やリズムを工夫し、どのように歌ったり、まとまりを意識した音楽をつくったりするかについて思いや意図をもつ。
- (3) 旋律やリズムを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や音楽づくりの活動に取り組む。

### 3 題材について

#### (1) 児童の実態について

児童は昨年度から常時活動において、4分音符と8分音符の5種類のリズムカードを並び替えて、学級全体で8拍罫のリズムを即興的につくってきた。第3学年のリコーダーの旋律づくりでは、「シラソ」の3音の旋律づくりとSongmakerを用いて「ソラシドレ」の5音音階の旋律づくりを行った。その際、「たくさんつくれたから嬉しい。もっとつくりたい。」と複数の旋律をつくることに対して、楽しさを感じている児童が多かった。しかし、つくった旋律をじっくりと聴き、試行錯誤しながら表現を追求する姿はあまり見られなかった。音や音楽を聴き、そこからさらに学びを深めていくことに課題が見られる。また、リコーダーの技能面にも差が見られ、Songmakerでつくった旋律（4分音符と4分休符を使用）をそのまま演奏できる児童もいるが、つくった旋律通りに演奏することが難しい児童も複数いた。

4月からは「さくらさくら」を学習し、都節音階に触れ、日本の音階の面白さを感じ取りながら歌ったり、箏を演奏したりする活動を行ってきた。児童は第4学年になり、長音階以外の音階のよさや面白さに気付き始めたところである。

本題材は、「まきばの朝」ではリズムのよさや面白さを学習し、「とんび」では旋律の音の動きや呼びかけとこたえ、ハ長調の五音音階で作曲されていることに着目し、これらの歌唱の学びを生かして、児童が思いや意図をもって旋律づくりを行えるようにしていきたい。

#### (2) 題材について

本題材は、旋律やリズムの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら歌うこと、さらに歌唱の学びを生かしキーボードを使って、ハ長調の五音音階で旋律をつくることをねらいとしている。

「まきばの朝」の歌詞は、早朝から日の出までの牧場の様子が時間と共に移り変わる様子を描写しており、児童にとって場面を想像しやすい曲である。また、各段の旋律が異なり、多様なリズムが使用されているので、リズムの面白さを感じ取りやすい。教師が4分音符だけで書き換えた「まきばの朝」と元の「まきばの朝」を比較することで、リズムの効果や面白さを実感させたい。

「とんび」は、ハ長調のファとシを抜く五音音階でつくられており、どこか懐かしく、のどかな曲である。旋律の音の上がり下がりもわかりやすく、上行型ではクレッシェンド、下行型ではデクレッシェンドと、強弱の変化が旋律の音の動きと一致しており、表現に結び付けやすい。

2曲の教材を使用し、リズムと旋律のよさや面白さを歌唱を通して学んだ後、児童はハ長調の五音音階を使ってキーボードで旋律をつくる。4分の4拍子の2小節で7拍間（最後の1拍分は休みとする）の旋律をつくり、最終的にはペアの友達と呼びかけとこたえをベースとして旋律をつなげていく。歌唱と音楽づくりを結び付けることで、より児童にとって思いや意図をもちながら表現を工夫していけるように支援していきたい。

### (3) 学習指導要領との関連

本題材は、小学校学習指導要領の以下の内容に基づくものである。

#### 【A 表現：（1）歌唱】

- ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。
- イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと。
- ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)のまでの技能を身に付けること。
  - (ア) 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能
  - (イ) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能
  - (ウ) 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能

本題材で扱う主な音楽を形づくっている要素

ア「旋律」「音階」「リズム」      イ「呼びかけとこたえ」      ウ「強弱」「フレーズ」

#### 【A 表現：（3）音楽づくり】

- ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。
  - (ア) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。
  - (イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。
- イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くこと。
  - (イ) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴
- ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。
  - (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能
  - (イ) 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能

本題材で扱う主な音楽を形づくっている要素

ア「旋律」「音階」「リズム」      イ・ウ「呼びかけとこたえ」「反復」

#### 4 教材について

本題材では、「まきばの朝」や「とんび」で学習したことをもとに、音の動き方やリズムを工夫して、4分の4拍子の2小節で8拍（最後の1拍は休みとする）の旋律をつくる。その後、「とんび」に出てきた呼びかけとこたえをベースとし、ペアの友達と旋律をつなげて試し、順番を工夫していく。

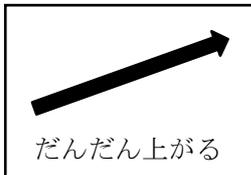
<使用する音階>



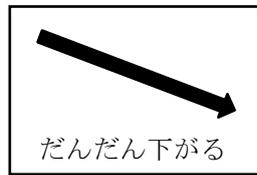
ハ長調の五音音階

<音の動き方>

A



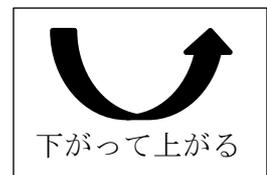
B



C



D



<つくり方>

- ① 音の動き方を決める。（A～D以外でもよい）
- ② となりの音に行く。（少しとんでもよい）

#### 5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>◆「まきばの朝」の曲想とリズムや旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。【知①】</p> <p>◆「とんび」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。【知②】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。【技①】</p> <p>◆旋律の音の動き方やリズムの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている</p>	<p>◆「まきばの朝」のリズムや旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【思①】</p> <p>◆「とんび」の旋律や呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉え</p>	<p>◆「まきばの朝」や「とんび」の歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【態①】</p> <p>◆旋律の音の動き方やリズムを生かして旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。【態②】</p>

<p>る。【知③】</p> <p>◆発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。【技②】</p>	<p>た表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【思②】</p> <p>◆旋律やリズム、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現したり、音を音楽へと構成したりすることを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。【思③】</p>	
--	---	--

## 6 本時の評価の進め方と期待される児童の姿

### 【本時の評価規準】

**思** 旋律やリズム、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現したり、音を音楽へと構成したりすることを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。

### 【Aと判断される児童の状況】

「2分音符のリズムを入れると音がより広がったように聴こえるな。」「終わる感じにするために、最後の音を変えてみよう。」などと旋律の音の動きやリズムのよさや面白さを感じ取りながら、ペアの友達と旋律をつなげて演奏したり、聴いたりして、思いや意図をもって表現を工夫している。

### 【Cと判断されそうな状況への手立て】

ペアの友達と合わせる前に、呼びかけとこたえの順番を確認し、一緒に拍を取りながら歌い、その後演奏することで、スモールステップを踏んだ支援ができるようにする。

友達の旋律を演奏することが難しい場合は、つくった友達の演奏を聴いて、リズムを取り、階名で歌うことで、音楽を楽しみながら交流できるようにする。

7 題材の主な指導計画 (全8時間)

時	○学習内容 ・学習活動 *予想される児童の反応	◇教師の働き掛け ◆評価規準 (評価方法)
1	<p>○「まきばの朝」の聴き比べをし、曲想とリズムとの関わりに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の歌を聴き、違いを聴き取る。</li> </ul> <p>*歌詞は同じでも、違う感じがするな。</p> <p>*2つの歌い方は、何が違うのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いたことを共有する。</li> </ul> <p>*1つ目は音が伸びていなかったり、途中で休符が入ったりして、途切れている。</p> <p>*2つ目は流れている感じがする。細かい音符がある。音が伸びているところもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜を見比べ、実際に歌う。</li> </ul> <p>*1つ目は4分音符と4分休符しかない。</p> <p>*2つ目は8分音符や2分音符、いろいろなリズムが使われているな。</p>	<p>◇4分音符(4分休符)だけで書き換えた「まきばの朝」と元の「まきばの朝」を教師が弾き歌いし、それぞれのリズムの違いを感じ取ることができるようにする。</p> <p>◇児童が2つの歌い方を聴いて、気付いたこと、感じ取ったことを分けて板書し、違いを整理する。</p> <p>◇2つの楽譜を拡大したものを並べて掲示し、楽譜を見ながらリズム打ちをし、リズムの違いを感じ取るようにする。リズムを確認した後、音程を取り、実際に歌い比べる。</p> <p>◆「まきばの朝」の曲想とリズムや旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。【知①】 (演奏聴取、発言の内容、記述)</p> <p>◆「まきばの朝」や「とんび」の歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。【態①】(行動の観察)</p> <p>#【態①】は、歌唱の学習について継続的に評価する。</p>

<p>2</p>	<p>○曲想とリズムとの関わりを意識しながら、情景を思い浮かべ、曲想に合った歌い方を考えて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を音読し、情景を思い浮かべて歌う。 (録音しておく)</li> <li>* 1番～3番になるとだんだん日がのぼって、明るくなっている感じがするな。</li> <li>・前時に使った2つの楽譜を使い、歌詞と旋律、リズムがよりよく結び付いているところを歌いながら見付ける。</li> <li>* 「ポプラなみきの」→ポプラの部分は伸びているから優しく歌えて気持ちがいい。なみきの部分は階段みたい、流れにのれる。</li> <li>* 「くろいそこから」→音が急に高くなるので、力強さを感じる。</li> <li>・情景を想像しながら、曲想に合った歌い方を考えて歌う。 (録音しておく)</li> <li>*最後の「カンカンと」は2分音符が使われているので、せかせかしないで落ち着いて歌いたいな。</li> <li>・授業の始めと終わりに歌ったものを聴き比べ、「まきばの朝」のまとめをする。</li> </ul>	<p>◇1～3番までの歌詞を読み、内容を確認して牧場の景色や時間が移り変わる様子を捉えられるようにする。</p> <p>◇「リズムのよさが伝わるのはどこだろう」と問い、歌詞と旋律、リズムが結び付いている箇所を見つけさせ、全体で確認する。その部分を2つの楽譜で歌い比べることで、そのよさや面白さを実感できるようにする。</p> <p>◇旋律の音の上がり下がりやリズム、歌詞に合うように、強弱やフレーズを意識して歌うように助言する。</p> <p>◇思いに合う歌い方ができているか、録音したものを客観的に聴くことで振り返りができるようにする。</p> <p>◆「まきばの朝」のリズムや旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【思①】(演奏の聴取、発言の内容、記述)</p>
----------	--	--

<p>3</p>	<p>○「とんび」を聴き、曲の特徴をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱に聴いたり併せて歌ったりし、気付いたことや感じたことを伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 明るく、なめらかな旋律。</li> <li>* 鳥が空を大きく羽ばたいているよう。</li> <li>* 山びこになっているところがある。</li> </ul> </li> <li>・ 階名唱して、音程を取りながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 使われていない音があるな。</li> <li>* 「ドレミソラド」を聴くと洋風な感じがするな。</li> <li>* 和風な感じもするな。</li> </ul> </li> </ul> <p>○楽譜から曲の構造を捉え、曲想との関わりについて気付いたり、歌詞を読んで内容を理解したりして声を合わせて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽譜見ながら、3段目に着目して曲の構造を知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 3段目だけ、鳴き声になっている。</li> <li>* 同じリズムが続いている。</li> <li>* とんびがお話ししているみたい。</li> </ul> </li> <li>・ 歌詞を読み、とんぴの飛んでいる様子を思い浮かべながら、友達の声や伴奏を聴きながら声を合わせて歌う。</li> </ul>	<p>◇範唱を聴き、気付いたことや感じたことを共有する。</p> <p>◇1段ごとに教師の範唱を聴き、音の高さを確かめながら歌えるようにする。黒板に「ドレミファソラシド」を書き、「とんび」が五音音階でできていることに気付くようにする。</p> <p>◇「どうして3段目が特別なの？」と問い、4段あるうちの3段目に注目させ、呼びかけとこたえになっている曲の構造に気付くように支援する。</p> <p>◇とんぴの鳴き声が入っている映像を見せ、情景を思い浮かべて歌えるようにする。</p> <p>◆「とんび」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。【知②】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。【技①】 (演奏の聴取)</p>
<p>4</p>	<p>○旋律の音の動きに着目し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旋律の音の動き合わせて、手を動かしながら階名唱、歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1, 2, 4段目は山のように上がってから、下がっているな。</li> <li>* 3段目は鳴き声を繰り返していて、呼びかけとこたえになっていた。</li> </ul> </li> <li>・ 旋律の動きから特徴を感じ取り、共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 旋律が上がってるところは、登坂のよう</li> </ul> </li> </ul>	<p>◇「せんりつはどんな動きになっているかな？」と問い、旋律の動きに注目させながら歌い進めていく。</p> <p>◇「旋律の音の動きに名前をつけよう」と伝え、旋律の上がり下がりによって、どのように感じ方が変わるか考えさせ、まとめて</p>

	<p>だな。なめらかで、山みたい。 *下がっているところは、すべり台のよう。降りていくところが気持ちがいい。</p> <p>・3段目について、いろいろな歌い方を試しながら、どのように歌うかを考える。 *とんびは2匹いるから、山びこのように2回目は弱いほうがいいかな。</p>	<p>おく。次の旋律づくりでの音の動きに生かせるようにしておく。</p> <p>◇「とんびは何匹いるのかな？」と問い、歌い方を呼びかけとこたえに注目して、歌い方を考えられるようにする。</p> <p>◆「とんび」の旋律や呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【思②】（演奏の聴取、発言の内容、記述）</p>
5	<p>○都節音階とハ長調の五音音階を聴き比べ、それぞれの音階のよさを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都節音階は、和風な感じがする。</li> <li>・ハ長調の五音音階は、洋風にも和風にも感じるな。</li> </ul> <p>○五音音階の音のつなげ方の特徴についてそのよさや面白さと関わらせて気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とんび」を歌い、五音音階の旋律の感じを確かめる。 *旋律が上がるときは、のぼりざか。 *旋律が下がるときは、くだりざか。</li> <li>・「ドレミソラ」の音で即興的に旋律をつくって遊ぶ。 *どんな旋律にしようかな。</li> <li>・旋律のつくり方を知り、「ドレミソラ」の音で旋律をつくる。 *とんびの旋律のように、上ってから下がる旋律にしようかな。</li> </ul>	<p>◇「さくらさくら」に使われている都節音階（ミファラシドミ）と「とんび」に使われているハ長調の五音音階（ドレミソラド）を聴き比べ、それぞれの音階のよさを感じ取るようにする。</p> <p>◇「とんび」の旋律の音の動きを感じながら歌うように伝える。掲示物で旋律の音の動きを確認する。</p> <p>◇音階シートを使い、ハ長調の五音音階で即興的に旋律をつくって遊ぶ時間を設ける。</p> <p>◇旋律をつくる基本のルールを伝える。「まきばの朝」「とんび」に出てきたフレーズをリズムの例として提示し、参考にしてもよいことを伝える。つくった旋律をプリントに書くようにする。</p> <p>◆旋律の音の動き方やリズムの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。【知③】（演奏の聴取、行動の観察、ワークシート）</p>

6	<p>○前時に自分でつくった旋律を振り返る。 *波のようにしたいから、なめらかに上がったたり下がったりするように、8分音符の細かい動きにした。</p> <p>○ つなげ方を試し、即興的にペアで互いにつくった旋律をつなげたり、気に入ったつなげ方を見付けたりする。</p> <p>・ つなげ方を知り、即興的にペアでつくった旋律をつなげる。 *どちらの旋律を先にするといいかな。</p> <p>・ いろいろなつなげ方を試し、気に入ったつなげ方を見付ける。 *落ち着いた感じて始めたいから、低い音の旋律を始めにした。</p>	<p>◇つくった旋律を演奏し、どんな思いで旋律をつくったのか、ペアの友達と使うプリントに書くようにする。</p> <p>◇「とんび」に出てきた呼びかけとこたえを想起し、基本となるA B A B, B A B Aのつなげ方を提示する。</p> <p>◇いろいろと旋律のつなげ方を工夫し、「どうして最終的にそのつなげ方にしたの？」と問い、プリントに記入するようにする。</p> <p>◆発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。【技②】 (演奏の聴取)</p>
---	--	---

<p>7 (本時)</p>	<p>○今までの学習を振り返る。 *「まきばの朝」では、音が伸びると言葉がより強調されるな。 *つくった旋律がこのつなげ方だと終わる感じがしないな。</p> <p>○友達とつくった旋律を聴き比べ、互いの旋律のよさや面白さを感じ取る。 ・他のペアと互いの旋律を聴き比べる。 *音が下がって上がる動きもいいな。 *音が細かいと勢いが出て、次につながりそう。</p> <p>○ペアで旋律のつなげ方をさらに工夫し、まとまりを意識しながら、どのような旋律にするかについて思いや意図をもつ。 ・旋律のつなげ方や終わり方、リズムなどを再度、工夫する。 *この音で終わるのはどうかな。 *同じリズムを繰り返す使用とどうかな。</p> <p>・ペアグループで交流し、互いに意見交換する。 *もう少し穏やかなリズムがいいかな。</p> <p>・交流から再び旋律を振り返る。 *このつなげ方にしてよかったな。</p>	<p>◇「まきばの朝」を2つの楽譜で歌い比べ、「とんび」で学習した音の動きを確認する。 ◇前時までにつくった旋律をまずは歌い、その後キーボードで演奏するように伝える。 ◇一人で演奏した後、ペアの友達とつなげて演奏するように伝える。</p> <p>◇ペアの友達と移動し、他の友達の旋律を聴き比べに行くよう伝える。</p> <p>◇席に戻り、聴き比べたことを基に、実際に音で試しながら、思いや意図に合う表現を探していくように伝える。</p> <p>◇ペアグループで交流をし、自分たちのつくった旋律を相手に演奏してもらい、思いや意図に合った表現ができていないか聴いて確かめたり、演奏してくれた相手からアドバイスをもらったりする。 ◇つくった旋律が思いや意図に合うものになったかどうか、振り返るようにする。</p> <p>◆旋律やリズム、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現したり、音を音楽へと構成したりすることを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【思③】 (演奏の聴取、発言の内容、ワークシート)</p>
-------------------	---	--

<p>8</p>	<p>○つくった旋律を発表し合い，互いの旋律のよさや面白さを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つくった旋律を演奏する。</li> </ul> <p>・ペアの友達とつくった旋律をつなげて演奏し，全体で聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*この旋律はすてきだな。</li> <li>*こんな音の動きもかっこいいな。</li> </ul> <p>・発表を聴いて，気付いたこと，感じたことを共有する。</p> <p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*自分たちで旋律をつくれてよかったな。</li> <li>*他の音階でも旋律をつくってみたいな。</li> </ul>	<p>◇今までつくってきた旋律を発表することを伝え，ペアの友達とリハーサルする時間を確保する。</p> <p>◇発表するときのやり方，聴き方を伝え，温かい雰囲気での発表ができるようにする。</p> <p>◇旋律の動きやつなげ方，リズムの面白さ，音階のよさなど，児童の気づきを価値付ける。</p> <p>◇今までの学習を振り返り，学習のまとめができるようにする。</p> <p>◆旋律の音の動き方やリズムを生かして旋律をつくることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。【主②】（行動の観察，演奏の聴取，発言の内容，ワークシート）</p>
----------	--	---

## 8 本時の展開 (7/8)

### (1) 本時のねらい

自分たちの旋律に思いや意図をもち、旋律の音の動きやリズムのよさや面白さを感じ取りながら、表現を工夫する。

### (2) 本時の展開

	○学習内容・学習活動	◇教師の働きかけ ◆具体的な評価規準
導入 10分	<p>○今までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まきばの朝」を歌い比べる。</li> <li>・「とんび」の音の動きを振り返る。</li> </ul> <p>・つくった旋律を演奏する。 階名で歌う → 一人で演奏 → ペアでつなげる</p>	<p>◇「まきばの朝」を2つの楽譜で歌い比べ、リズムの効果や面白さを確認する。</p> <p>◇掲示物を用いて、「とんび」で学習した音の動きを確認する。</p> <p>◇前時までにつくった旋律をまずは歌い、その後キーボードで演奏するように伝える。</p> <p>◇一人で演奏した後、ペアの友達とつなげて演奏するように伝える。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">旋律の音の動きやリズムを工夫してよりよい旋律に仕上げよう</div>		
展開 30分	<p>○友達とつくった旋律を聴き比べ、互いの旋律のよさや面白さを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの友達と移動し、他の友達の旋律を聴きに行く。</li> </ul> <p>○ペアで旋律のつなげ方をさらに工夫し、まとまりを意識しながら、どのような旋律にするかについて思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律のつなげ方や終わり方、リズムなどを再度、工夫する。</li> <li>・つくった旋律をペアグループに演奏してもらい、聴き合う。</li> </ul>	<p>◇ペアの友達と移動し、他の友達の旋律を聴き比べに行くよう伝える。</p> <p>◇友達の旋律を聴くことで、音の動きやリズムに注目して、自分たちの旋律との違いを感じ取れるようにする。</p> <p>◇席に戻り、聴き比べたことを基に、実際に音で試しながら、思いや意図に合う表現を探していくように伝える。</p> <p>◇つくった旋律をペアグループに演奏してもらい、客観的に聴く場面を設定し、思いや意図に合った表現ができていないか聴いて確かめたり、演奏してくれた相手からアドバイスをもらったりする。</p>
まとめ 5分	<p>○交流から再び旋律をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つくった旋律が思いや意図に合っているか確かめる。</li> </ul>	<p>◇つくった旋律が思いや意図に合うものになったかどうか、振り返るようにする。</p> <p>◆旋律やリズム、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現したり、音を音楽へと構成したりすることを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【思③】 (演奏の聴取、発言の内容、ワークシート)</p>

(3) 備考

- ・音階シートは、民謡音階（緑色）のシートを使用する。